

「マイナビ 2023 年卒企業新卒採用活動調査」を発表 採用予定数を前年より「増やした」企業は前年比 6.1pt 増の 22.1%。採用意欲は 2 年連続で回復 採用広報において今後アピールすべきと思うことの第 1 位は「SDGs」

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、「2023 年卒企業新卒採用活動調査」を発表しました。本調査は全国の企業 3,176 社に、2022 年 6 月時点の 2023 年卒の採用活動および 2024 年卒の採用計画について調査したものです。調査結果の概要（一部抜粋）は以下の通りです。（調査期間：2022 年 6 月 3 日～6 月 20 日）

《TOPICS》

- ◆ 採用予定数を前年より「増やした」企業は前年比 6.1pt 増の 22.1%。企業の採用意欲は 2 年連続で回復【図 1】
- ◆ 6 月時点で採用充足率が「5 割以上」の企業は 44.3%（前年比 6.2pt 減）。現在の問題点は「母集団（エントリー数）の不足」や「選考受験者数の不足」【図 2、3】
- ◆ エントリーがあった学生に対し「前年よりも採用したいと思う学生が少ない」という印象を受けた企業は前年比 9.1pt 増の 25.2%【図 4、5】
- ◆ 8 割以上の企業が「入社 3 年目以降の活躍」を期待して新卒採用を実施【図 6】
- ◆ 採用広報において今後アピールすべきと思うことの第 1 位は「SDGs」【図 7】

【調査概要】

23 年卒の採用予定数について、「前年並み」が 69.3%で最も高く、次いで「（前年より）増やした」の割合が前年比 6.1pt 増の 22.1%となった。21 年卒はコロナ禍で採用予定数を「（前年より）減らした」企業が 2 割を超えていたのに対し、22 年卒以降は「増やした」が 2 年連続で増加しており、採用意欲が回復していることがわかる。【図 1】

6 月時点の採用充足率が「5 割以上」である企業は 44.3%（対前年比 6.2pt 減）で、コロナ禍前である 20 年卒の 44.2%と同水準になった。採用活動における現時点での問題点は、「母集団（エントリー数）の不足（55.6%）」が前年比 21.2pt 増、「選考受験者数の不足（44.3%）」も前年比 14.0pt 増加した。マイナビが実施した 23 年卒の学生調査によると、3 月時点の就職活動の予想は「先輩よりも（かなり+多少）厳しくなる」が 26.6%と前年比で 34.0pt 減少し^{※1}、6 月末時点での選考受験社数は「11 社以上」の割合が 46.7%で前年比 6.1pt 減少している^{※2}。22 年卒の学生はコロナ禍による危機感の高まりから活動量が増加したが、23 年卒学生は危機感の緩和により活動量が減少。その結果、エントリー数・選考受験者数が減少し、企業の 23 年卒採用が前年よりも厳しい状況になったと推察される。【図 2、3】

※1 「マイナビ 2023 年卒学生就職モニター調査 3 月の活動状況」 ※2 「マイナビ 2023 年卒大学生活動実態調査（6 月末）」

エントリーした学生の印象を聞いたところ、「前年と大体同じ印象」が 54.5%で最多だったが、「前年よりも採用したいと思う学生が少ない」は前年比 9.1pt 増の 25.2%となった。企業に「現時点での満足度の理由」を聞くと、採用したいと思う学生が少ない企業からは「適性・志望度は例年に比べ高くはない」「能力・自社マッチ度が十分な学生に内々定を出せていない」というコメントが見られた。前述の通り、23 年卒の学生は応募企業を絞って選考を受ける傾向にあり、企業は前年に比べ幅広い層の学生と出会いつらくなったため、学生から受ける印象にも影響があったと考えられる。ただし、23 年卒の学生はより志望度の高い企業を選定して活動しており、選考に参加した学生に対し「マッチングしていない」「志望度が低い」と感じることにについては、学生と企業の間コミュニケーションに課題があった可能性も考えられる【図 4、5】

「23年卒として採用する人材が入社何年後に活躍することを期待しているか」を聞いたところ、「3年目」が45.7%で最多となった。また、3年目以降の割合を合計すると81.7%だった^{※3}。新卒採用は、数年後の状況を見越して実施有無や採用予定人数を決定しており、コロナ禍でも採用意欲が回復しつつあることや、入社後の定着を目指したマッチングが求められているのも、このような背景によるものと推察される。

※3 「3年目 (45.7%)」+「4~5年目 (29.5%)」+「6~10年目 (5.5%)」+「11年目以上 (1.0%)」の合計

採用広報で今後アピールすべきと思う項目について、「SDGsに取り組んでいること (31.6%)」が1位となった。また、上場企業においては「ダイバーシティ&インクルージョンに取り組んでいること」は21.2%で非上場企業の6.4%を大きく上回った。SDGsへの取り組みをはじめ、多様な価値観や働き方を促進していく姿勢のアピールが重要だと考えている傾向が、特に上場企業において強いことが分かる。

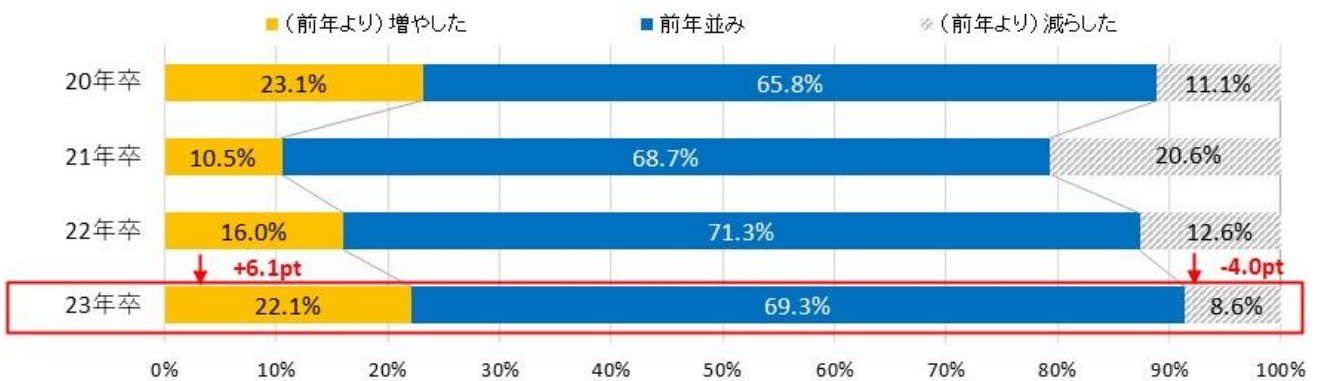
【図7】

【調査担当者コメント】

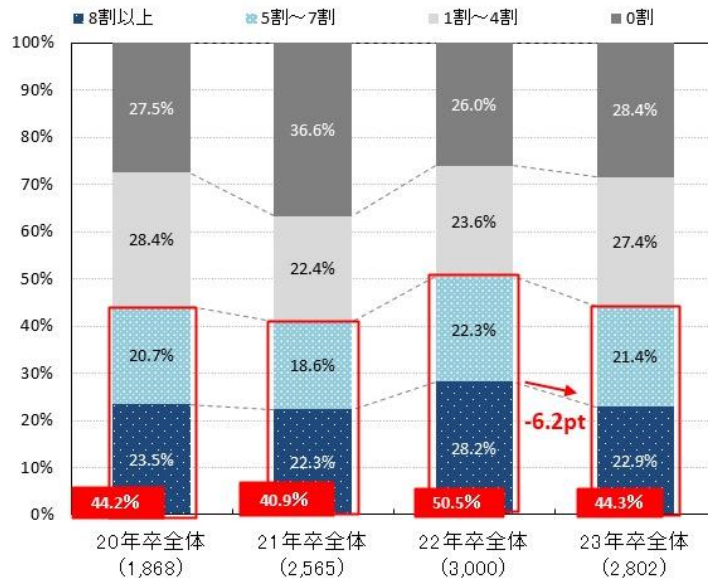
23年卒の新卒採用は、各企業の採用意欲が回復していて企業側の競争が前年より激しくなっています。学生が積極的に活動していた22年卒と比べて活動量が減少していることも影響し、企業は学生を採用することに苦戦していることが分かりました。母集団形成の難しさに加えて、今年は「前年よりも採用したいと思う学生が少なかった」という印象を持つ企業が増えているようですが、学生が上手く志望動機を伝えられていない可能性や、熱意の表現の仕方が変わってきている世代ということも考えられます。志望度については選考過程で高める工夫もしながら、慎重に見極めてほしいと思います。

キャリアリサーチラボ 研究員 沖本 麻佑

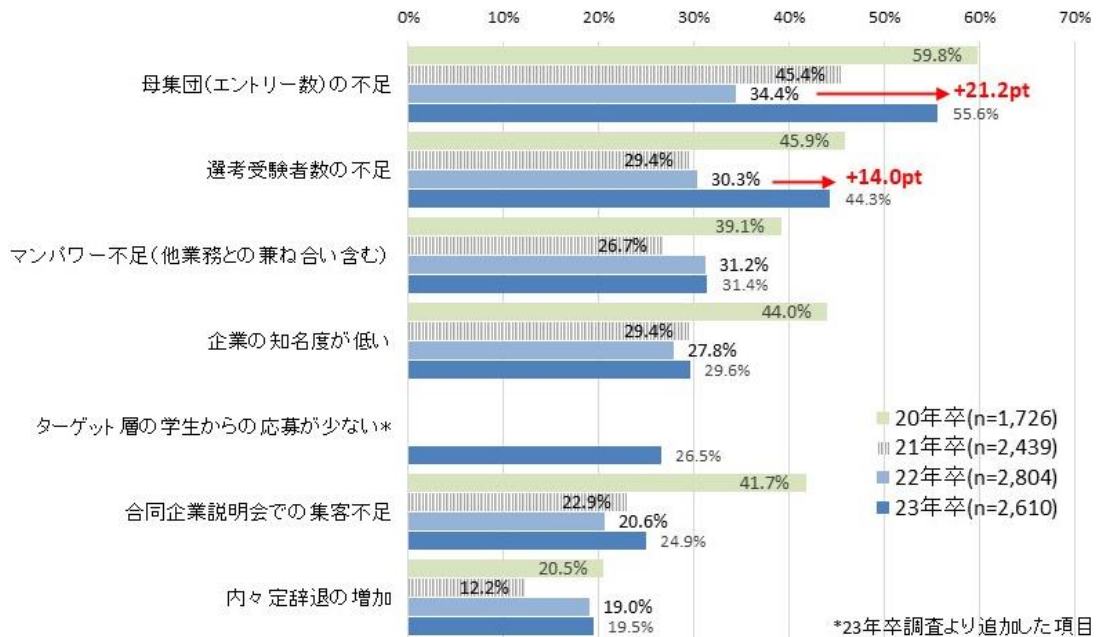
【図1】採用予定数の対前年比較



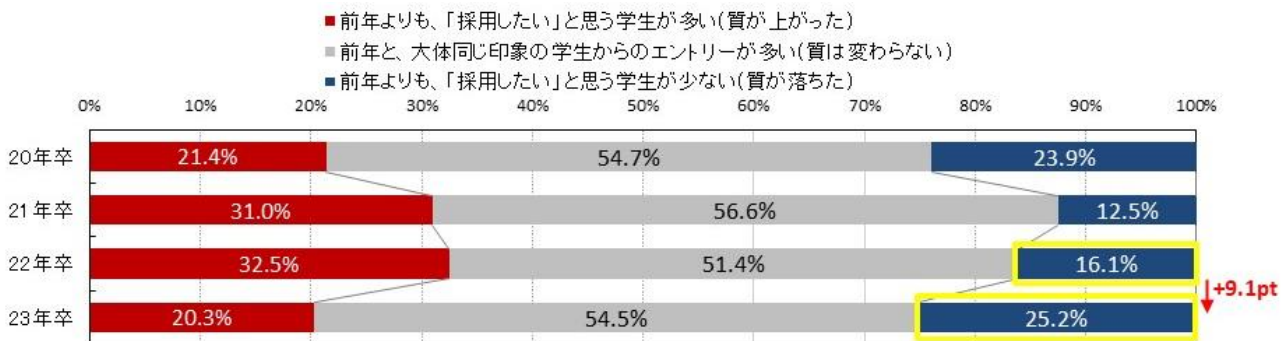
【図2】採用予定数に対して現在採用が確定している割合 (採用充足率)



【図3】採用活動における現時点での問題点（複数回答、上位抜粋）



【図4】エントリーがあった学生の印象



【図5】採用活動における現時点での満足度の理由（自由回答）

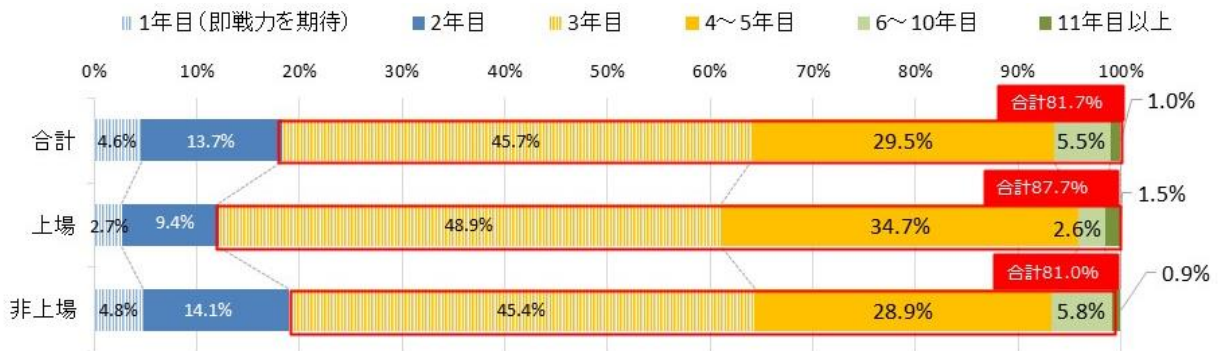
【「前年よりも「採用したい」と思う学生が多い」企業】

上場/非上場	業種	採用予定数	満足度の理由
上場	商社	5人～9人	昨年は採用の方向性を変更したことにより、希望数に満たず苦労しました。今年は方針転換から2年目ということで、 希望する層の学生とのマッチング度が上がり、現時点で8割の学生確保が出来ました。
非上場	商社	1人～4人	応募数、面接に来てくれた人数は少なかったが、 面接をした方は当社にマッチする方であった。
非上場	サービス・インフラ	10人～19人	採用予定人数に近い人数の内々定を出すことができた。 募集ターゲットとなる学生に多く出会えた。
非上場	サービス・インフラ	1人～4人	説明会参加人数は減少したが、 マッチングする学生からの応募が多くあった事
非上場	官公庁・公社・団体	5人～9人	採用予定人数を超える人数の内々定を出すことができた。 志望度が高い受験生が大半だった。

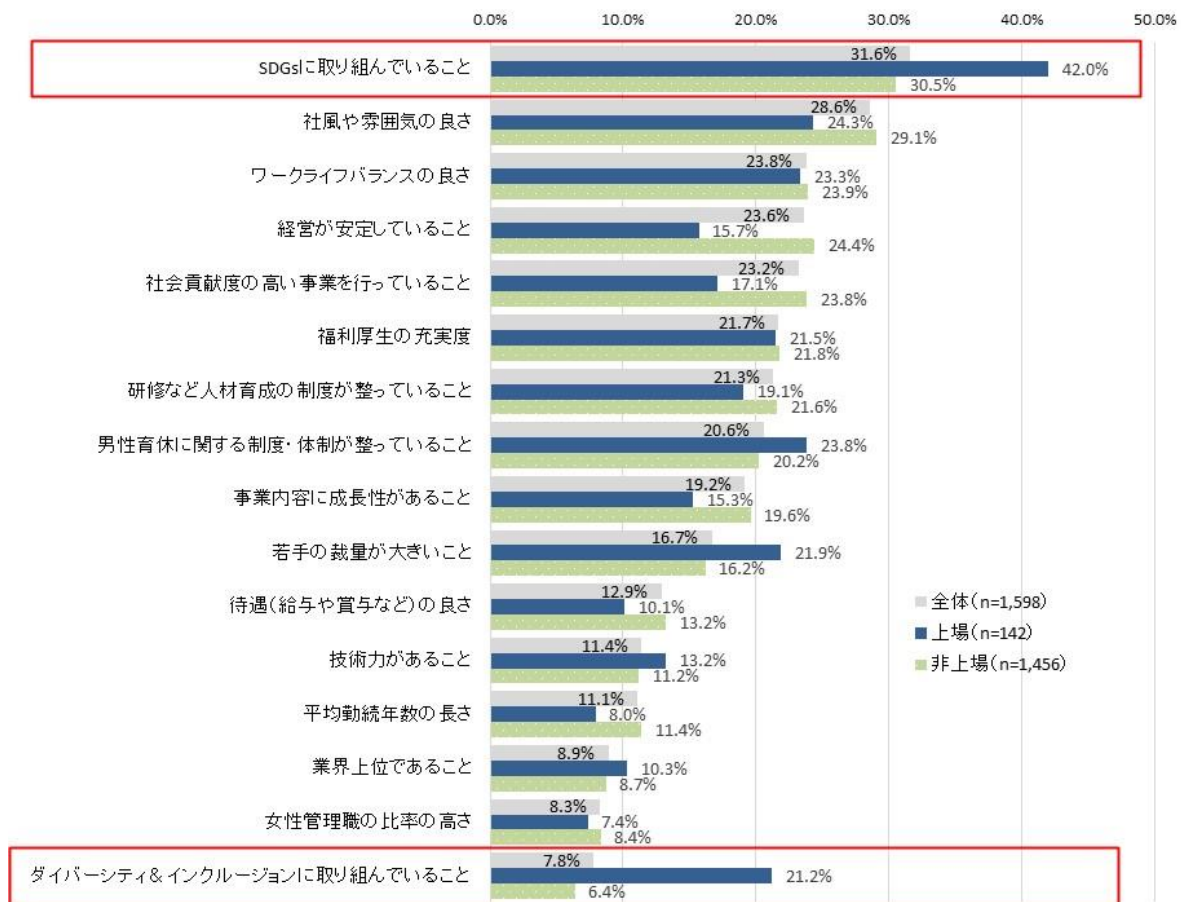
【「前年よりも「採用したい」と思う学生が少ない」企業】

上場/非上場	業種	採用予定数	満足度の理由
非上場	製造(建設除く)	1人～4人	採用予定数の確保はできたが、 適正・志望度としては例年に比べ決して高くはない人材確保しかできなかった。 例年に比べ、ターゲット層である工学系学生のエントリーが得られずマッチ度が上げられなかったと考える。
非上場	サービス・インフラ	10人～19人	現時点では去年比で 能力・自社マッチ度が充分な学生に内々定を出せているとはいえず、その数も十分でない ため。
非上場	商社	5人～9人	前年同時期と比較しても母集団の数がかなり減少しており、加えて学生の質も低くなっている為。特に弊社は対面接客がある為、コミュニケーション能力を重視するが、WEBでの授業・会議になれてしまった学生が多いこともあってか、 コミュニケーション能力が基準に満たない学生が増えたように感じる。
非上場	小売	10人～19人	母集団形成では目論見より少なかったが、選考に進んだ学生の数は予定数に届いてはいるので、そこは満足している。 一方で例年に比べ、自社に対する志望度が高い学生の比率がやや低く、社会情勢に伴うものと感じている が、次年度に不安が残る。
非上場	金融	10人～19人	夏場に予定していた1day仕事体験(対面)がコロナにより中止となり、早い段階での学生との接触が出来ず、 志望度を上げることができなかった。

【図 6】 23 年卒として採用する人材が入社何年後に活躍することを期待しているか



【図 7】 今後、採用広報でアピールすべきだと思うこと



【調査概要】「マイナビ 2023 年卒企業新卒採用活動調査」概要

- 調査期間/2022年6月3日(金)~6月20日(月)
- 調査方法/WEBフォームより回答
- 調査対象/採用・育成・組織戦略のヒントを掲載する情報メディア「HUMAN CAPITAL サポネット」会員にメールマガジンにて案内、『マイナビ 2023』利用企業担当者宛にメールマガジンにて案内、当社営業担当より各企業に案内
- 調査機関/自社調べ
- 有効回答数/3,176社(上場275社、非上場2,901社|製造1,262社、非製造1,914社)
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 沖本
Email: myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 石井
Email: koho@mynavi.jp